施工説明書

キッチン用　シングルレバー混合水栓

品　番　SK179XXDW45

XX →（カラー）　CR：クローム、ST：ステン色

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有り難うございました。
施工の前に必ずこの説明書をお読みください。その後はお客様にこの施工書を保管して頂くようお渡しください。

もくじ

- 商品図・安全上のご注意
- 必ずお守りください
- 技術仕様
- 取付前のご注意
- 施工
- 施工後の確認

● 商品図

● 安全上のご注意

配管工事はすべての建築基準法、水道法、各市町村の条例規定に準じておこなって下さい。
水栓の取り付けには、水栓を取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。配管工事に関する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの施工説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼して下さい。
管工事業者（法的有資格者）に依頼する工事：
・　給水／給湯の一次側配管との接続および検査
上記以外の作業は、管工事業者（法的有資格者）以外でも可能です。

- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、 取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

記号の説明

⚠注意	危険、注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害 が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為	該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	指示（重要）	該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。
	接触禁止	該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	分解禁止	該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。

● 必ずお守りください

注意	危険、注意	ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為	湯水を逆に配管しないで下さい。水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	引渡しまでや長期不在の間に凍結が予想される場合は凍結予防処置を行ってください。 例）水栓内部の水を全て排出する。 水栓から少量の水を出し続ける。 水栓・配管を設置している場所の温度を氷点下以上に保つ。 凍結破損で漏水被害等を引き起こし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります
	接触禁止	高温の湯をお使いの際は、吐水口やホース、お湯に直接触れないようにしてください。やけど、けがなどのおそれがあります。
	指示（重要）	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。　次に使用する際に水栓内に滞留した湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	お湯をお使いになる時は必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。　その後ゆっくりお湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。　湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	他所の水栓との同時使用等により圧力の変動が起こり、湯温が急上昇する恐れがあります。　同時使用の際は湯温の変化に注意をしてください。　ヤケドをする恐れがあります。
	指示（重要）	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こす恐れがあります。　ゆっくり操作してください。　漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
	分解禁止	修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。　破損、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります
	指示（重要）	定期的に、配管周りを点検し、水漏れやがたつきがないか確認してください。　製品に使われている部品の一部は、経年により劣化・摩耗するものがあります。

● 技術仕様

- 給水は上水道に接続してください。　※温泉水・井戸水等には使用できません。
- 給水・湯圧、給湯温度は次の条件を守ってください。

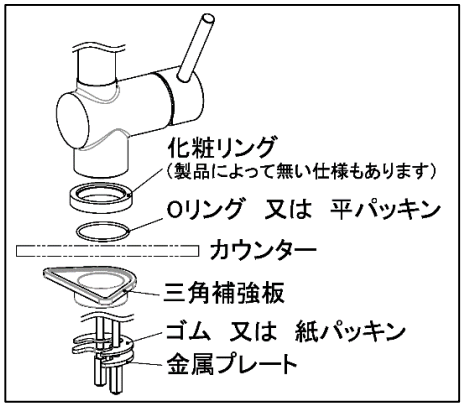
⚠ 水圧	最低圧力（流動圧）	0.15(MPa)	—
	最高圧力（静水圧）	0.5(MPa)	これより圧力が高い場合は市販の減圧弁等で0.2～0.3MPa に調整してください
	推奨圧力（流動圧）	0.15～0.25(MPa)	—
	湯・水差圧（静水圧）	最大 0.05(MPa)	湯・水の圧力差が大きい状態（例：電気温水器等と組み合わせて使用する場合）で使用すると、圧力が弱い側が吐水されない、急に温度が切り替わる等があり危険です

⚠ 温度	給湯温度	最大 60(℃)	—

● 取付前のご注意

- 逆配管をしないでください。
- 取付後の点検やメンテナンスのため、必ず止水栓と点検口を設けてください。
- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い流してください。配管内にごみが 詰まったまま、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不 具合を引き起こすことがあります。配管内の異物・ごみなどに起因する水栓の止水不良、 吐水不良については、製品保証の対象外となります。

● 施工



1、本体の取付

右の図を参照しOリング（平パッキン）の入れ忘れに注意して水栓をカウンター穴にセットします。

2、本体の締付け

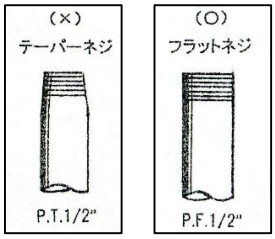
本体が正面を向いていることを確認して、
バランスよく固定金具を締め付け本体を最終固定します。
※三角補強板は天板強度が十分ある場合は
使わずに施工することができます

※締めこみが弱すぎても強すぎても問題を引き起こします！

※本体の正面位置がずれている場合は固定金具を緩めてから調整を行ってください

固定済みの本体を無理やり動かして向きを調整することは絶対にしないでください！

3.　逆止弁付配管アダプターおよび給水・湯ホースの取付



※アダプターはG(PF) 1/2の平行ネジです。

テーパーネジは接続しないで下さい。　テーパーネジを接続すると、

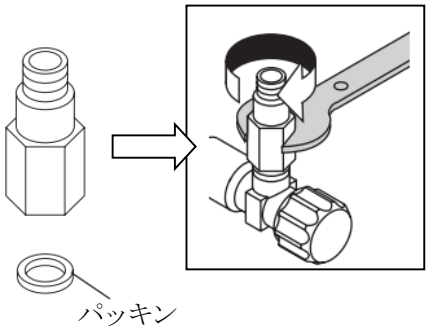
アダプターが破損して水漏れをおこす恐れがあります。

※　必ず純正のパッキンを使用し、シールテープや配管用接着剤は使用しないで下さい。水漏れを起こす恐れがあります

①　配管接続アダプターにパッキンを入れ、

止水栓にしっかり固定します。

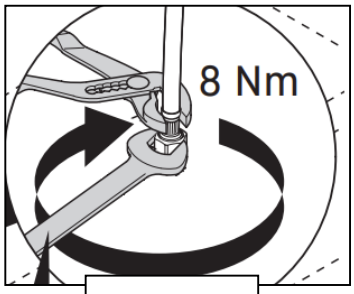
ネジ山を確認し、手締めにてパッキンに当たるまで真っ直ぐに締め込みます。パッキンにあたるとネジが止まりますので、工具でしっかり締めつけします。



②　給水・湯ホースの袋ナット部を

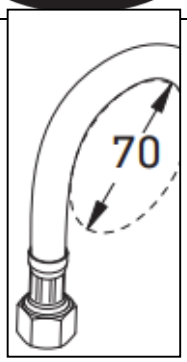
配管アダプターにしっかり締付けます。

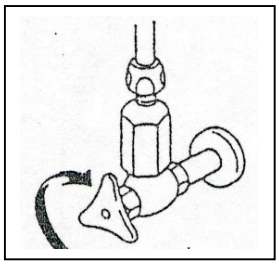
※　ホースかしめ部が回転しないよう、モンキーレンチやプライヤー等でしっかりと固定をしながら袋ナットを締付けてください！　かしめ部を固定しないとホースがねじれ、漏水や吐水量が著しく低下する恐れがあります。



※フレキホースの最小曲げ半径は35mm(直径70mm)です。

これ以下の曲げ半径とするとホースが折れて通水されず吐水量が著しく不足する原因となります。



●　施工後の確認

- 全ての施工完了後、再度接続部ネジの締付確認を行ってください。
- 水漏れがないか再度確認をしてください。
- 止水栓を開きます
- レバーを湯・水中央で開栓して通水してゴミが出ないか確認してください。